

講演会

人工衛星による 宇宙からの災害把握

昨今、気候変動の影響で風水害による被害が顕著となっています。また、予測困難な大規模地震への対策のあり方も議論となっています。宇宙航空研究開発機構（JAXA）では、災害発生時に人工衛星によって1日以内に被災地を観測し、観測後2時間程度で浸水範囲などの被害状況を分析し防災機関に提供しています。本講演では、そんな宇宙からの災害把握の仕組みや重要性を、2024年の能登半島地震、2019年の房総半島台風被害などの事例を交えて紹介します。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）
地球観測研究センター
主任研究開発員 大木 真人 博士



東京工業大学理学部、東京大学大学院理学系研究科（修士課程）を卒業後、2007年より宇宙航空研究開発機構・地球観測研究センターにて地球観測衛星を用いた災害被害状況の把握技術の研究開発を行っている。また、衛星データを用いた教育、人材育成、多様な分野への研究協力などに取り組んでいる。2021年、東京大学より博士（工学）の学位を授与。産業技術総合研究所客員研究員、木更津工業高等専門学校非常勤講師。茨城県在住。

テクノフォーラム

木更津高専 技術振興交流会 | 2024-10-29

日時 令和6年10月29日（火）15:00～17:00

場所 ハイブリッド開催
現地：木更津高専 第1講義室
オンライン：Zoom配信

対象 木更津高専 技術振興交流会 会員・非会員
木更津高専 教職員・学生

定員 現地：100名

オンライン：木更津高専技術振興交流会 会員限定
申込 参加費無料、事前申込制（締切10/24木 17:00）

→ 下記URLあるいはQRコードから申込
<https://forms.office.com/r/BdgTcJ4TUJ>

お申込みはこちら



タイムテーブル

14:30～14:55	現地受付
15:00～15:10	開会挨拶 中野 賢二 氏（木更津高専 技術振興交流会 会長） 先村 律雄 氏（木更津高専 校長）
15:10～16:30	講演会 大木 真人 氏（宇宙航空研究開発機構JAXA 主任研究開発員）
16:30～16:55	事務局からの報告
16:55～17:00	閉会
17:10～18:40	現地交流会 気軽な雰囲気の中で議論や交流を深められるよう、ソフトドリンクと軽食をご用意いたします。